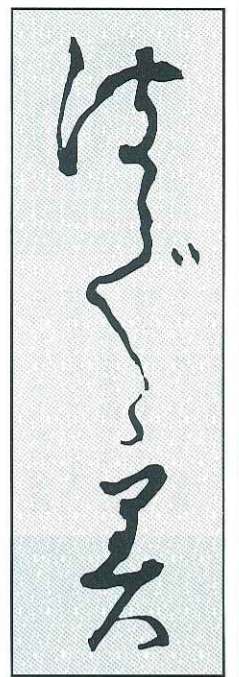


# 子育て環境に 関心を

## —情報を共有し 行動を起こす時—

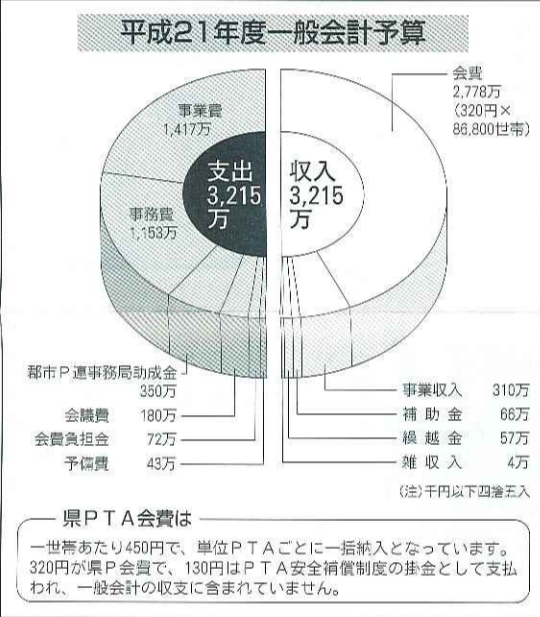
大分県PTA



発行所  
大分市大字下郡496の38  
大分県教育会館2階  
大分県PTA連合会  
☎(097)556-9055  
http://www.oita-pta.com/  
責任者 富永大輔  
印刷所 大分市六場北町485番地の1  
大分出版印刷



あいさつする池内県P連会長



### 現状を見すえた活動を

はじめに池内晴一県P連会長は、昨年度の県P連創立60周年記念式典のお礼を述べ「子どもたちに基本的な生活習慣を身につけさせ、食育・読書・携帯電話など今日の話題に関心をもち対応しなければならぬ。今、青少年に関する問題は多様化し深刻な状況にある。保護者は敏感に反応し、PTAが中心となって取り組む必要がある。問題行動の現状はさまざまな場で情報を得られる。解決に積極的に活用してほしい」とあいさつした。

広瀬勝貞県知事(代理阿部良秀県総務部審議監)をはじめ、安部省祐県議会議長(代理嶋幸一県議会議員)、小矢文則県教育長、高橋正夫高P連会長(代理田邊一徳顧問)の祝辞があった。

### 大分県PTA連合会 平成21年度 第61回 定期総会

平成21年度大分県PTA連合会定期総会が6月5日、広瀬勝貞県知事(代理阿部良秀県総務部審議監)をはじめとする多数の来賓を迎え、県下16郡市等P連の代議員と被表彰者を含む約130名が出席して県教育会館で開催された。

時代の変化に対応すべく、家庭・学校・地域との連携を強化し、子育ての基盤は家庭にあることを再認識し、会員が協力して子どもたちの健全育成に努めることを確認した。



就任した富永新会長

### 新会長に富永大輔氏

広瀬知事は「未来を担う子どもの教育は何より重要であること。県では子育て満足度日本一をめざしている。中でも父親が子育てに積極的に関わられるように環境を整備していく。地域の人材を活用して学校教育をさまざまな形で支援する『協育ネットワーク』の構築を進めているが、家庭・学校・地域をつなぐ新しい要としての父親の参加を促進していきたい」と述べた。

### 役員改選について

役員改選について、選考委員よりその過程が報告され、富永大輔新会長に決定したことを発表した。副会長、理事も決定し、新体制が誕生した。新役員を代表して富永新会長は「新理事や代議員の方と県Pをさらに盛り上げていきたい。単P(各学校単位のPTA)の近くにある県Pにしたい」と抱負を語った。

池内会長をはじめ旧役員は表彰される各校代表

- ### 平成21年度の主な事業
- 第57回日本PTA全国研究大会 みやぎ大会 8月21日(金)~22日(土)
  - 第54回九州ブロックPTA研究大会 福岡県大会 10月24日(土)~25日(日)
  - 県PTA指定研究校発表大会(平成20・21年度) 大分市立下郡小学校P 11月14日(土)
  - 玖珠町立北山田小学校P 11月21日(土)
  - 津久見市立第二中学校P 12月5日(土)
  - 研究校(平成21・22年度) 宇佐市立立洲中学校P 大分市立立岡小学校愛育会 豊後大野市立大野小学校P 第18回県PTA研究大会 中津大会 平成22年2月27日(土)

### 富永会長プロフィール

平成15年 大分市立津留小学校P会長  
平成18年 大分市P連副会長  
平成19年 大分市P連会長  
平成19年 大分県P連理事  
平成21年 大分県P連会長

### 理事

加来 桂一	中津市
甲斐 浩二	豊後高田市
松永建比古	宇佐市
諸富 正徳	杵築市
定平 壽一	日出町
青山 久徳	国東市姫村
高野 博幸	大分市
中野 恭次	津久見市
清水 聡二	由布市
浅野 栄華	竹田市
引田 正信	豊後大野市

### 顧問

藤本 友則	日田市
清水 弘明	玖珠郡
豊田 有里	豊後高田市
河野 美幸	臼杵市
石丸 知二	大分市
坂本 光裕	佐伯市
後藤 禮子	竹田市(丁)

### 相談役

池内 晴一	竹田市
藤田千克由	大分市

### 研心北

▼書写指導の 応援に行つて いる武蔵西小の校歌「郷土に生まれた偉人たち/いい子になれと呼んでいる/いざやほくたち私たち/昔の人のあとうけて/みんな強く伸びようよ(三番)」▼「毎晩星を仰ぎつつ/発見された天地の理/空にかがやく星のように/おしえは永に生きています/あ、あ、僕たちの梅園先生(梅園先生をたたえる歌、三番)」▼「二詩とも滝口武士先生作。西小は、先生の母校であり、第24代校長。日本の詩壇に燦然たる存在感を占める大詩人。「一人を粗末にする時、教育はその光を失う」と主唱して県下最初の県指定特定教育研究会開催。小生の中2時の優しい校長先生。舞鶴小勤務時、校歌の監修をしていただいた▼：伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う(学教法・義務教育目標21条)とある。伝統とは、「ある民族や社会、団体が長い歴史を通じて培い、伝えて来た信仰・風習・制度・思想・学問・芸術など。特にそれらの中心をなす精神的在り方(広辞苑)」とある。今、私たちの生活や生き方や心の中に、伝統を継ぐ、伝統に習う、伝統を創るという強い意識がひとり一人にあるだろうか。伝えるべき校風や家風がありやなしや。理屈理論は二次。元氣よい挨拶の飛交う学校。「ニコニコ笑顔いっぱいの家」で伝統ある校風や家風はできる。秒、分単位の生活リズムの時代だからこそ伝統や歴史をしっかりと踏襲した学校文化や家庭文化を創造したいものである。滝口先生は二詩の中でも自然や歴史や先人にしっかり学べと教えてくださっているのだと思う。

**ネットワーク 報**

**一村PTA**

(16は県下都市等PTA連の数)

会員数 2,144人  
学校数 8校

# 県内一小さな連合会

日出席PTA連合会

日出席PTA連合会は、単位PTA数が8校と、県内都市町村PTA連合会(育友会)の中では、最も単P数の少ない連合会です。

「お互いの顔が見える」という長所を生かし、各種事業の取り組みには、関係者一人ひとりが各々の役割をこなす、気持ちよく活動を進めています。



親睦深まるスポーツ交流大会

## 町P連 スポーツ交流大会

毎年8月の第一土曜日に、全町内PTAより16チームが参加して、ミニバレーボールの交流試合を行っています。

町営体育館では、応援団の声を背に選手たちの熱いプレーが繰り広げられます。

平成20年度、「親学PTA連携子育てネットづくり事業」のひとつとして、短歌・標語づくりに取り組みました。

各家庭での約束事や、家庭の中で大切にしていきたい事を親子で一緒に考えて、短歌・標語を選び、作品一つひとつを記したのぼり旗を27旗作って各単Pへ配布しました。

「親学」への取り組みは単年で終わらずに、町P連の活動の核として今後も継続し、「子育ての基本は家庭にある」という原点に、今一度遡りたいと考えています。

日出席PTA連合会  
事務局 美保

## さあ来い! リスク。

安心のゴールキーパーでありたい。

リスクとトータルに戦う総合保険ブランド「GK」

「クルマの保険」|「住まいの保険」|「からだの保険」|「生命の保険」

**GK**

三井住友海上グループ MSIG

三井住友海上火災保険株式会社  
〒104-8252 東京都中央区新川 2-27-2  
www.ms-ins.com



縫扇貝を使って親子で制作

参加した小・中学生とその保護者は、縫扇貝を再利用した制作活動、マンボウの観察、海岸清掃に取り組み自然環境への関心を高めた。貝の制作活動の講師は「ゴミだった貝

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

「お詫びと訂正」  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA

7月3日(金)、県P連幹部研修会が大分市コンパルホールで開催された。来賓として、山田修治県教育次長、石井雅晴県社会教育課長、向智章社会教育主事を迎え、県内16都市等から57名が出席した。

理事会、母親部会、事務局長会の後、合同研修会では、中川忠宣大分大学高等教育開発センター教授による講演が行われた。



PTAの役割について講演する中川教授

## 平成21年度 県P連 幹部研修会

# PTAの「要」その役割は?

研修を深め 互いに連携

本会は年に1回開催され、各都市等の幹部が今日的な活動の諸問題について研修を深め、リーダーとしての役割を確立し合うことを目的としている。

理事会で、平成20年度の懸案事項の解決に向けて、昨年度に引き続き特別委員会を設置した。活動内容の充実を図ること、及び、今年度は県P

連ホームページの立ち上げに開いたIT活用検討部会を繰り入れた「教育・研修部会」と、「総務・厚生部会」との2つの専門部で取り組むことに決定した。

PTAの 役割を再確認

合同研修会では、中川教授が「今だからこそ求められているPTA活動―子どものために汗をかく親―その親のために汗をかく?」

と題し講演。「協育ネットワークがうまく循環するようPTAは日常的なシステムづくりの核になることが必要。組織や活動内容を見直し、今求められるPTA活動を考えよう」と語った。参加者は「家庭教育力の重要性を再認識した。P会員にも啓発していきたい」とリーダーとしての意気込みを話してくれた。

活動の充実をめざし研修

反抗期 どう接したらいいの? ⑭

我が家の 井戸端会議を

前号に登場した「おばちゃん」の自分の子どもの話です。ある日、おばちゃんは、小4生の長女と小1生の長男とある事柄についての議論に加わったそうです。

それは、アメリカの宇宙開発計画の中で起こった犠牲者の「死」についての議論でした。地上試験中、アポロ宇宙船内で火災が発生し、グリムソンら3人が亡くなったという事故のことです。

話し合いを続けるうちに、姉は、「犬死だ」と言い、弟は、「英雄だ」と主張し合い議論は、かみあわないままに終わったそうです。

「二人が自分らしい考えを言い合い、聞いていて、考えさせられました」と、おばちゃん。

夢の実現に向け、使命感や勇気を頼りに厳しい訓練の積み重ねに耐えてきた中で、突然の事故死。

宇宙飛行士が置かれていたさまざまな状況への子どもらしい共感が議論の引き金になったのではないのでしょうか。

彼女は、今、医師として活躍していますが、子どもの頃のこの話がそうさせたのか、聞きたいと、思っています。

みんなで考えるコーナー室長 岩尾 淳一

「こは命の星」推進事業 活動報告(2)

関心が高まり、命の尊さを感じられる活動に取り組んだ。

相川博之佐伯市P連教育研修部長は「縫扇貝のランプ作り、そば打ち体験に続き3回目の活動。親子がふれ合いながら、自然や命の大切さを考える活動として根づかせたい」と語った。

ふれ合いから 体感

参加した小・中学生とその保護者は、縫扇貝を再利用した制作活動、マンボウの観察、海岸清掃に取り組み自然環境への関心を高めた。貝の制作活動の講師は「ゴミだった貝

自然と向き合い つなぐ命 佐伯市PTA連合会

佐伯市PTA連合会(会員数5366名)は、平成17年に旧佐伯市P連と旧南海部郡P連が合併したことを受け、相互交流を促すとともに、親子の絆を深めるために「親子ふれ合い事業」を行っている。今年度は「こは命の星」推進事業に申し込み、これまでの地域に密着した活動に加え、地域の生き物や自然への

【お詫びと訂正】  
第305号(5月22日発行)  
2面「こは命の星」推進事業 活動報告(1)  
宇佐市立院内北小学校PTA